

本デザインレビューシートは、MB91345 シリーズでのシステム開発において、問題を未然に防ぐ事を目的として準備させていただいております。より潤滑にご利用いただく上で、最低限必要と思われるチェック項目をリストしたものです。是非、ご活用ください。また、チェック実績として、ご利用頂いた本書を大切に保管する事をお勧めいたします。

項目	チェック内容	チェック理由	チェック結果	備考	更新日
CPU	外部リセット	リセット入力幅は、当社規格を満足していますか？	Yes / No		2008/9/3
CPU	外部リセットIC	外部リセットICを使用する際、低電圧検出値はマイコンの動作保証値内ですか？また、検出後の発生するまでの電圧降下は考慮されていますか？	Yes / No	データシート内の動作保証範囲を確認願います。	2008/9/3
CPU	割り込み	未定義命令例外割り込みの割り込みベクタ処理をしていますか？	Yes / No	未定義命令実行時には未定義命令例外割り込みが発生しますので、特別な処理が必要な場合は、その処理にジャンプする様にして下さい。特別な処理が必要でない場合は、リセットベクタへのジャンプ設定を推奨します。	2008/9/3
CPU	割り込み	未使用割り込みベクタの処理をしていますか？	Yes / No	特別な処理が必要な場合は、その処理にジャンプする様にして下さい。特別な処理が必要でない場合は、リセットベクタへのジャンプ設定を推奨します。	2008/9/3
CPU	ビット操作命令	各リソースのレジスタでリードモディファイライト命令を禁止しているものがありますが、対象レジスタにリードモディファイライト命令を使用していますか？	Yes / No		2008/9/3
CPU	メインクロック発振安定待ち	システムと発振子とのマッチングデータを取得し、必要な発振安定待ち時間を把握していますか？	Yes / No	ご使用される発振子メーカーに発振評価依頼をして下さい。	2008/9/3
CPU	クロック	内部クロック動作モードの切り替え(PLL,メイン,サブ)において、切り替え中に他のモードへ切り替えを行っていますか？	Yes / No	マニュアルの説明を参照願います。	2008/9/3
CPU	クロック	PLLモードからメインモードを返さず直接ストップモードに遷移もしくは、直接時計モードに遷移している場合の発振安定待ち時間を設定しておられますか？	Yes / No		2008/9/3
CPU	クロック	メインモード→PLLモード、メインモード→サブモードへの状態遷移時には、タイムベースタイマの割り込みを禁止していますか？	Yes / No	タイムベースタイマは、発振安定待ち時間、PLLクロック安定待ち時間のカウンタ用として使用されますので、以下の状態遷移でカウンタが自動的にクリアされます。 ・メインクロックモードからPLLクロックモード遷移 ・サブクロックモードへの遷移 ・ストップモードへの遷移 メインモード→PLLモード、メインモード→サブモードへの状態遷移時には、タイムベースタイマの割り込みを禁止しないと、意図しないタイムベースタイマ割り込みが発生する可能性があります。	2008/9/3
CPU	スタンバイモード遷移	スタンバイモード遷移時の注意事項についてご存知ですか？	Yes / No		2008/9/3
周辺機能	I/Oポート	システムにおいて、フェールセーフを目的に重要なポート入出力の追い書き等の処理を行っていますか？	Yes / No		2008/9/3
周辺機能	I/Oポート	CMOS入出力ポートを出力として使用する場合、PDRxレジスタを設定してからDDRxレジスタを設定していますか？(FR30系) CMOS入出力ポートを出力として使用する場合、PDRxレジスタを設定してからDDRxレジスタを設定してPFRxレジスタを設定していますか？(FR60系)	Yes / No		2008/9/3
周辺機能	ADC	アナログ入力インピーダンスがデータシートに記載されているアナログ入力インピーダンス以下ですか？アナログ入力インピーダンスが高い場合、サンプルホールド時間を長く設定するか、外部にコンデンサを付けてインピーダンスを低くする必要があります。	Yes / No	A/Dコンバータを使用する場合のみ対象	2008/9/3

本デザインレビューシートは、MB91345 シリーズでのシステム開発において、問題を未然に防ぐ事を目的として準備させていただいております。より潤滑にご利用いただく上で、最低限必要と思われるチェック項目をリストしたものです。是非、ご利用ください。また、チェック実績として、ご利用頂いた本書を大切に保管する事をお勧めいたします。

項目	チェック内容	チェック理由	チェック結果	備考	更新日
周辺機能	ADC	アナログサンプルホールド時間は、十分に確保していますか?	Yes / No	データシートの推奨アナログ入力インピーダンス以上でご使用になる場合のみ対象	2008/9/3
周辺機能	ADC	A/D変換終了とA/D起動が同時に行われることはありませんか?	Yes / No	A/Dの動作中にA/D起動を行っている場合のみ対象	2008/9/3
周辺機能	ADC	A/Dを使用する場合、アナログ入力許可レジスタの設定をアナログ入力モードにしていますか?	Yes / No	A/Dコンバータを使用する場合のみ対象	2008/9/3
周辺機能	ADC	AVRまたはAVRH,AVCCの電圧レベルは十分に安定していますか?	Yes / No	A/Dコンバータを使用する場合のみ対象	2008/9/3
周辺機能	Flash	Flashメモリ書き込み/消去(チップ消去,セクタ消去)中にFlashメモリのリードが行えない事をご存知ですか?	Yes / No	FLASHのユーザー書き込みを行なう場合のみ対象	2008/9/3
周辺機能	Flash	FLASHメモリのユーザー書き込みにご対応している場合、ハードウェア・シーケンス・フラグを用いてFLASH書き込み制御を行なっているでしょうか?	Yes / No	FLASHのユーザー書き込みを行なう場合のみ対象	2008/9/3
周辺機能	I2C	通信相手のデータセットアップ時間規格を満たすように本品種の動作周波数を設定していますか?	Yes / No	I2Cを使用する場合のみ対象	2008/9/3
周辺機能	I2C	INTビットのクリアは、割り込みルーチン処理の終わりで行なっていますか?	Yes / No		2008/9/3
周辺機能	ウォッチドッグタイマ	タイマ割込みなどによりウォッチドッグタイマをクリアしていませんか?(PLL通信誤設定及び、間欠動作モードも考慮していますか?)	Yes / No		2008/9/3
全般	—	リンカの配置結合にて、Flash.MaskチップのROM,RAM容量に合わせてメモリ範囲を設定していますか?	Yes / No		2008/9/3
全般	—	スタックの最大使用量をチェックしていますか?	Yes / No	SoftuneのCアナライザなどを使用してスタックの最大使用量をチェックされる事を推奨します。(なお、Cアナライザでは、動的なスタックはチェックできませんので、多重割り込み発生時など考慮して確認する必要があります)	2008/9/3
全般	—	ライトオンリのビットを含むレジスタにリードモディファイライト系の命令を実行していませんか?	Yes / No	Cソースでの開発の場合は、ライトオンリのビットを含むレジスタに対してヘッダファイルでビット単位で適宜されている事がないか確認をお願いします。リードモディファイライト系の命令は、命令一覧表のRMWIに*がある命令を示します。	2008/9/3
全般	—	使用電圧範囲、使用温度範囲、使用動作周波数は、富士通の定める規格を満たしていますか?満たしていない場合は特殊保証の検討と取り直しを行っていますか?	Yes / No	データシート内の動作保証範囲を確認して下さい。	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	Mode端子	MOD端子の処理は、命令実行中でも同一レベルが確保されていますか?	Yes / No	外部ノイズがMOD端子に回り込み安い場合は、モード端子にコンデンサを接続する等の静電気対策が行われる事を推奨いたします。	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	Mode端子	MOD端子の処理の配線が長かったり、隣接に大電流信号がないですか?	Yes / No		2008/9/3
ノイズ対策及びその他	発振	水晶振動子を使用している場合、適正なダンピング抵抗が挿入されていますか?	Yes / No	ご使用される発振子メーカーに発振評価依頼をして下さい。	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	発振	量産チップで発振のマッチングデータを取得していますか?	Yes / No	ご使用される発振子メーカーに発振評価依頼をして下さい。	2008/9/3

本デザインレビューシートは、MB91345 シリーズでのシステム開発において、問題を未然に防ぐ事を目的として準備させていただいております。より潤滑にご利用いただく上で、最低限必要と思われるチェック項目をリストしたものです。是非、ご利用ください。また、チェック実績として、ご利用頂いた本書を大切に保管する事をお勧めいたします。

項目	チェック内容	チェック理由	チェック結果	備考	更新日
ノイズ対策及びその他	発振	発振回路部のダンピング抵抗値は不要輻射ノイズと発振振幅を意識して値を決定していますか?	発振が正常にされなかったり、発振のオーバershoot、アンダーシュートにより不要輻射ノイズが増加する可能性があります。	Yes / No 不要輻射ノイズ問題が発生した時は、まず発振波形を確認しつつ不要輻射ノイズ対策としてダンピング抵抗の挿入検討が必要です。	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	発振	発振子は、出来るだけチップの近くに配置していますか?	外来ノイズによるCPU暴走の恐れが考えられます。	Yes / No 発振子は、必ずチップ近くに配置する事を推奨します。	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	Vcc,GND	Vcc,GNDは出来るだけ強くなる様に考慮されていますか?	不要輻射ノイズの問題及び、外来ノイズによるCPU暴走の恐れが考えられます。	Yes / No 不要輻射ノイズ及び、外来ノイズ問題事前回避を考えると、電源,GNDを極力広く取る事を推奨します。(チップの下などは、GNDを置く事でGND強化が図れます。)	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	ESD,ラッチアップ,ノイズ	量産チップでESD,ラッチアップ,ノイズ評価を行っていますか?	Flash品とMask品ではESD,ラッチアップ,ノイズの実力が異なりますので、量産品においてESD,ラッチアップの評価を行う事を推奨します。	Yes / No Mask,Flash 間の実力特性データについては、特性例として当社測定結果を提出する事は可能ですので、ご要求願います。	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	コンデンサ	ノイズ対策用のコンデンサは、チップの近くに最適値のコンデンサが接続されていますか?	ノイズ対策に付けたコンデンサがリードのリアクタンス成分で効かない場合があります。(ノイズ成分を考慮した対策が必要です。)	Yes / No	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	C端子	Vccに接続される平滑コンデンサは、C端子に接続する平滑コンデンサより大きいでしょうか?	Vcc端子の平滑コンデンサが小さいと内部レギュレータが不安定になる恐れがあります。	Yes / No	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	未端子処理	使用していない端子は、2kΩ以上の抵抗を返してプルアップもしくはプルダウン処理していますか?もしくは、端子開放でイニシャルルーチン内でポート出力処理を行っていますか?	未使用端子が抵抗を返さず端子処理された場合、CPU暴走によりポートレベルが処理レベルと反対のレベル出力した場合にラッチアップ等の問題が発生する可能性があります。	Yes / No	2008/9/3
ノイズ対策及びその他	特殊保証	特殊保証の検討を行った場合、通知書面に、「ご確認印(本回答で(問題なし、問題あり))」を明記の上、担当営業まで書面を返却していますか?	特殊保証をしている場合に、試験変更が必要な場合がありますので、必ずROMリリース前までに返却をお願いします。	Yes / No 試験対応に数ヶ月程の時間がかかる場合がありますので、ROMリリース直前のご返却では試験対応できない場合もあります。	2008/9/3